

# “町民の皆様へ”

【一】今、美浜町が進めている一大事業を御存知ですか？

## ① 「運動公園」整備事業

知多奥田駅前の水田地帯八・三ヘクタールに公式陸上競技場（三種）と遊戯場、多目的広場を作るものです。

## ② 「総合公園」拡張事業

総合公園隣接地に五・六ヘクタールの第二グラウンドに代わる野球場、サッカー場、遊戯広場等を作るものです。

『身の丈を越した膨大な費用』  
“財政破綻した夕張の二の舞では”

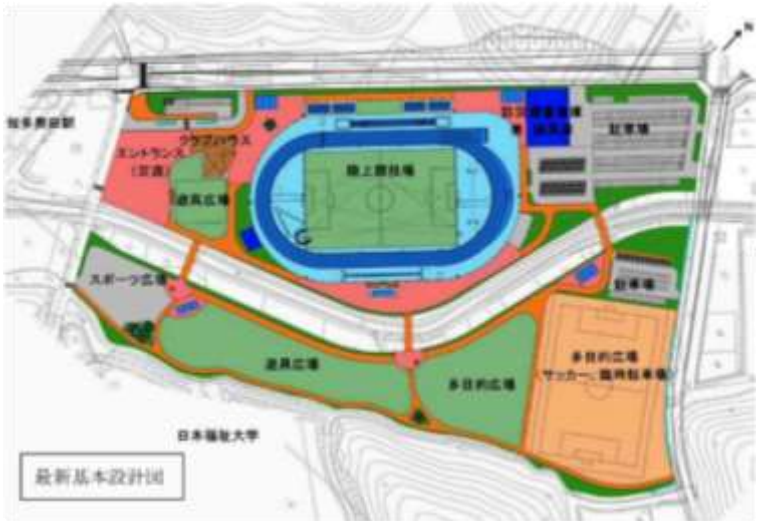
美浜町運動公園：四十五億円

総合公園グラウンド：五億八千四百万円

合計面積：十三・九ヘクタール

合計予算：五十億八千四百万円

※現在の合計予算の中には総合公園野球場の整備予算は入っていない、今後さらに増加します。



※設計図は広報みはま平成二十九年十一月号掲載より

○美浜町の税収は昨年度三十一億二千万円と伸び悩んでおります。

○二事業の合計面積十三・九ヘクタールは、東京ドームグラウンド面積の十倍です。今後美浜町は、公園の造成は国の面積基準をオーバーする為作れなくなります。

○当初計画の総合公園への第二グラウンドの移転整備だけで十分では？

同規模の運動公園を持つ半田市、知多市さえも多額な維持管理費で悩んでいます。人口二万人になろうとしている本町に公式陸上競技場が本当に必要でしょうか？

## 【二】現状の奥田駅前での決定的な問題点

平成二十七年九月九日に起きた台風十八号での奥田駅前の浸水状況

裏面へ続く



大学北西の橋から山王川上流を見る



奥田駅前から大学を見る



知多奥田駅西から山王川下流を見る

○山王川の中に位置し雨天浸水の土地であること、特に上流地での太陽光発電の敷設が急増している現今、下流からの山王川の改修をすることが最優先であります。○さらに県道西部線の工事は県が行ってくれず、町が買収し県に寄付。工事も町費で行う。どうなっているの？

### 【三】今、やらなくてはならないことが一杯の美浜町

#### 一、少子化に対応できる学校教育の整備予算の確保

美浜町教育委員会より、あと十四年で平成二十四年の生徒数の半数となることが想定され、早急な小中学校の適正規模化と施設整備、老朽化対策が求められております。

#### 一、地元産業の活性化

農業・漁業・商工業の活性化と後継者の育成の為の予算もままならず、町の活性化が図れるのでしょうか？

#### 一、美浜町の特性を生かした町づくりこそ求められる

今、太陽光発電、風力発電などの環境への影響が心配されています。  
美浜町の誇れる里山、里海、自然環境を守り、みんなが住みたい町としたいものですね！



美浜町民の幸せと将来を考える会